



# 還暦パラダイス

元気な熟年層のためのオンディマンドなまちづくり

## 「都市の縮退」という共通課題へのチャレンジ

20世紀の都市デザインでは、都市が成長することを前提に、新たなスペースの開拓やスプロールの抑制が主題であった。21世紀に移り、成熟期を過ぎた先進国の都市では、「都市の縮退」に対する様々な課題解決が、都市デザインの新たな主題になりつつあるようだ。

静岡の七間町も「都市の縮退」の典型的な例であり、核の喪失や空地の駐車場化などの、全国の都市に共通する課題に直面している。今回の再生計画では、七間町に対する個別解を提案すると同時に、その解決策が全国の都市が抱える「都市の縮退」という問題に対しても、共通解として適用できるような提案を目標とする。

## 「賑わいの主役」に着目したまちおこし

現在の静岡の市街地をみると、新静岡駅の再開発を中心とした新静岡エリアに都市の核が移りつつあることが顕著であり、この流れを止めることはできないだろう。こうした状況下において、シネマという核を失った七間町は絶望的な状況で、新静岡エリアと同等の価値観で対抗しても、賑わいを呉服町通りから七間町方面へ導くことは困難であると考えられる。そこで、七間町の再生では、「賑わいの主役」という側面に着目し、新静岡エリアとは異なる賑わいの主役に特化したまちおこしを提案する。

## 「還暦パラダイス」を提案

新静岡をはじめ、日本の中核都市では、東京のしゃれたまちを参考に、どこも同じような若者を中心とした賑わいを漠然と目指す傾向にある。映画が「シネコン」という世界標準に一律シフトしていく傾向もそうした価値観に付随するものである。そこで、七間町では、元気で可処分時間/所得の豊かな還暦前後の熟年層世代をターゲットとすることに特化したまち「還暦パラダイス」を提案する。ここでは、人生経験豊かな還暦世代(まちの利用者)にもまちづくりに参加してもらい、オンディマンドで持続可能なまちづくりを目指す。熟年世代には懐かしく、若い世代には新鮮な響きのあるまちは、いつの日か世代を超え、万民に親しまれる場となることであろう。

## ■ まちの担い手「還暦世代」

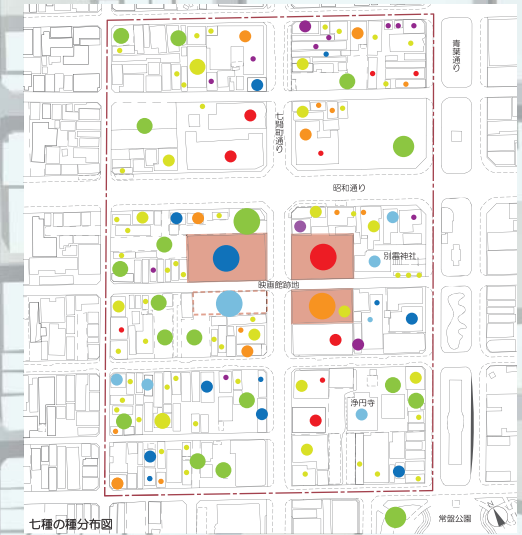
まちの担い手である還暦世代の特徴は、「還暦」という人生の節目を迎え、これまで仕事や家庭のために全力で生きてきた責任から解放され、新たな価値観に目覚める時期でもある。こうした熟年層は、経験豊かなハイセンスで元気な世代である。若者よりもむしろ好奇心や意欲にあふれ、新しいことへのチャレンジ精神も旺盛である。また、可処分時間や可処分所得が豊富であることもまちの活性化の原動力となる。こうした熟年層が毎日訪れ、新しい趣味に挑戦し、新しい仲間に出会い、そこで築いた新たなネットワークで起業したりなど、自由で楽しい「還暦パラダイス」を目指す。



## ■ 七種の種をまき地元と利用者が育てる

「還暦パラダイス」のまちづくりに際し、持続可能性を高めるために、巨大資本などにまちをゆだねるのではなく、小さなきっかけを沢山ばらまき、それらを地元や利用者が育てていくようなシステムを提案する。そこで、七間町のまちの由来にちなんで、七間町の七つの座「小絹」「炭」「米」「檜物」「千乗積」「相物」「馬商」を現代的に変換して、まちづくりのための「七種の種」として位置付ける。そして、「七種のまちづくりの種」を無数にまき、それらを地元と利用者が様々なかたちで育てていく。

凡例	種	説明
1	“小絹”	衣類 ファッションの種(服飾デザイン、ファッションショー等)
2	“炭”	活力 エンターテインメントの種(映画、演劇、音楽等)
3	“米”	健康 健康促進の種(温浴、エステ、クリニック、スポーツ等)
4	“檜物”	手仕事 創造の種(陶芸、絵画、マルチメディア等)
5	“千乗積”	伝 伝達の種(TV/FMスタジオ、アーカイブ、TMO等)
6	“相物”	食 食の種(ご当地グルメ、健康食の拠点等)
7	“馬商”	交通 エリア交通の種(集約駐車場、貸自転車、トローリーバス等)



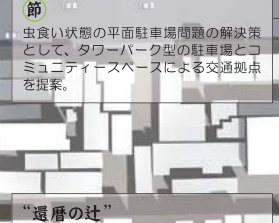
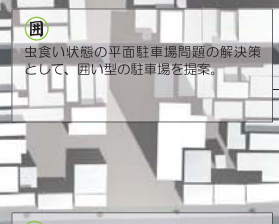
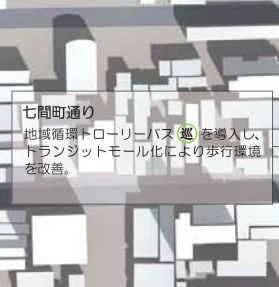
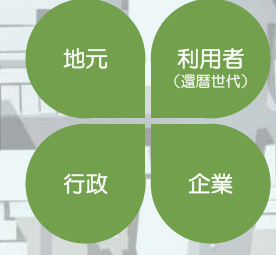
## ■ オンディマンドな運営方針

### 四つ葉のクローバー方式の運営

まちづくりの運営は、「地元」「利用者(還暦世代)」「企業」「行政」の4つ(四つ葉のクローバー)で組成するNPO法人、「七間町還暦組合」により行う。主に行政と地元商店会がまちづくりを推進し、実際にまちを利用する還暦世代は自らの要望や提案を具現化する。さらに、静岡を代表するような企業に参画を促し、資本援助や技術協力をはじめ、現場でのビジネス展開を期待する。また、静岡エリアにとどまらない全国的な知名度と質の向上を目的として、毎年一名の「還暦大使」を幅広い分野から交代で選出/任命する。第一号の「還暦大使」には、知名度の高い市毛良枝氏もしくは矢沢永吉氏などに就任していただければと考えている。



- 還暦大使の候補**
- 俳優:  
\*市毛良枝、\*柴田恭平、由美かおる、神田正輝、岩城滉一、酒井和歌子 等
- 芸能人:  
矢沢永吉、和田アキ子、美川憲一、綾小路きみまろ、\*研ナオコ、\*ピンクレディー 等
- 作家/漫画家:  
村上春樹、浅田次郎、植田まさし、あだち充、秋元浩、池田理代子 等
- スポーツ選手:  
星野仙一、尾崎裕司、\*奥寺康彦、\*星野一義、宗兄弟、ガッツ石松 等
- 利用者**  
還暦世代
- 地元**  
七間町の明日を考える会、七ふらシネマ通り繁華会、七間町名店街、七間町町内会、青年会、静岡大学、静岡県立大学 等
- 企業**  
静岡放送(テレビ/ラジオ放送局)、ヤマハ/河合楽器(楽器)、時の橋(温浴/手作り教室)、池田屋(靴)、高田葉局(菓)、タミヤ(プラモ)、ヤマハ発動機/スズキ(自動車/バイク/自転車)、はごろもフーズ(食品)、おでんやおぼろちゃん(静岡おでん)、由比糠港(サクラエビ) 等
- 行政**  
静岡県庁、静岡市役所、葵区役所、都市づくりパブリックデザインセンター 等



## ■ 3つの課題と提案

### 映画館跡地を核とする新たな都市機能・空間の提案

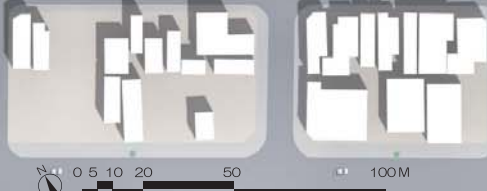
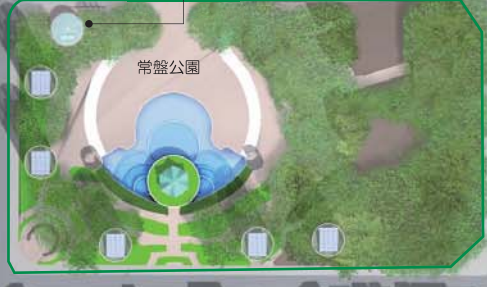
- 交差点を囲んだ3つの映画館跡地と一つの駐車場敷地を一体的に開発した施設「還暦の社」を提案する。
- 「還暦の社」には、(楽) (健) (創) (伝) をそれぞれテーマとした、還暦世代が毎日楽しめるサロンの施設を導入する。
- イベント時には、4つの施設が面する交差点(外部空間)を取り込んで、一つのイベントの核を形成する。

### 中心市街地アクセス交通機能の提案

- 虫食い状態のまちの景観と賑わいを阻害する駐車場化された空地を(節)と名付けられた2種類の交通拠点へと変換する提案を行う。
- 新規交通拠点と呉服町通りの賑わいをつなぐ、地域循環トローリーバス(巡)を導入し、エリアのアクセス機能向上を図る。

### 周辺とのつながりを意識した提案

- 「七種の種」を面的にばらまくことにより、地域全体の活性化を図る。
- 地域循環トローリーバス(巡)の導入により、回遊性を促す。
- 新規イベント拠点の導入と周辺地域の拠点との連携で、イベント域全体の拡大を図る。
- 現在有効に活用されていない常盤公園を還暦世代の活動拠点の一つとして取り込み、賑わいの面的拡張を図る。



## 「七間町還暦組合」によるまちのブランド化

「七間町還暦組合」を象徴するロゴをデザインし、七種の種の証として活用する。ロゴのステッカーを組合のコンセプトに賛同する地元店舗に配り、店頭に掲げてもらう。ステッカーを受けた店舗は、店の商品の中に最低一品、還暦世代をターゲットとした七間町名物を考案の上、出品する義務を負い、まちづくりに参加してもらう。まちの利用者である還暦世代は、ステッカーの貼ってある店に優先的に足を向ける。ステッカーの貼ってある店と利用者には、循環バスや駐車場等の様々なサービスも受けられる。こうして、地元と利用者(還暦世代)が相互に協力することで、七間町全体のブランド化を図る。